

7月31日(水)

全体講演
(全員参加)

「子どもの貧困とキリスト教」

講師 小見のぞみ (学校法人関西学院 聖和短期大学教授、宗教主事)

近年「子どもの貧困」は社会的関心を集め、「子ども食堂」などの取り組みも各地でなされています。けれども、それは、「見えない貧困」と呼ばれるように、わたしたちのすぐ近くにありながら隠されてしまっている、子どもたちや若者たちの人権の課題でもあります。

子どもの育ちに深く関わるわたしたちは、今、それぞれの現場でどのように「子どもの貧困」を捉え、向きあっていくべきなのでしょう。ともに考える時となればと願っています。

実習

(1つの実習を選択)

実習1 「楽しく読む! 楽しく語る! 聖書のお話」

講師 山下智子 (同志社女子大学准教授、日本基督教団牧師)

聖書を読むことは楽しいですか? 心を動かされる聖句や、興味をひかれるお話はありますか? もしも、ちっとも楽しくない! 心動かない! 興味もない! ということならば、それぞれが楽しく語れない、うまく伝えられない原因なのかもしれません。

ご一緒にその原因を一つひとつなくしましょう。聖書を楽しく読むポイントや、楽しく語るコツをお伝えいたします。

実習2 「“こどもさんびか”を歌って、キリスト教にふれよう」

講師 玉理照子 (日本基督教団広島流川教会音楽主事
広島女学院大学オルガニスト、日本基督教団讃美歌委員)

“こどもさんびか”の1曲1曲には、神さまからのメッセージがあふれています。子どもたちは“こどもさんびか”の豊かな音楽と言葉を通して神さまの世界を感じ、またそれは、おとなになっても心の中に生きる、神さまからのプレゼントとなります。

古来から歌いつがれた曲から新しい曲まで、ご一緒に歌ってみましょう。1曲1曲の伝え方、用い方をご紹介します。全員で心を合わせて歌う喜びを感じる時になればと思います。

さらに、曲を用いてのストーリー展開や曲のアレンジ法にもふれていきます。

8月1日(木)

実習

(1つの実習を選択)

実習3 「聖書と視聴覚教材 知ろう・作ろう・遊ぼう」

講師 菅澤順子 (西宮共同教会付属幼稚園園長、福音館書店社外講師
関西国際大学、京都文教大学非常勤講師)

聖書を読んだあと、子どもたちにどのようにお話ししたらよいか困ることがあるでしょう。私もその苦勞を楽しむ一人です。

実習では、聖書を身近にするためのアイデアをご紹介します。

少しの準備でも、一工夫で楽しく豊かに広がるキリスト教教育、絵本、紙芝居、かるた、ナーサリーライム(イギリスの伝承童謡)などを交えて体験しましょう。その時々々の聖書のキーワードが、学びの時、遊びの中で心に届くよう、いろいろお伝えできればと思います。

実習4 「見たい! やりたい! 音と楽器で喜びさんび」

講師 桃原和子 (音楽療法士、日本基督教団豊沢教会教会員)

音は目にはみえません。なのに、どうして音楽に感動するのでしょうか? それは、楽器を見て音を聴き、音楽を感じることができるからです。音楽は、体や心を開放し気分を良くするだけでなく、集団では、一体感や達成感をも生み出す力があると言われています。旧約聖書に登場する人物ダビデから始まる音楽療法の視点を交えつつ、楽器の数や見せ方、渡し方などの工夫から効果倍増の取り入れ方をお伝えします。

「こどもさんびか」を用いて、見たくなる・やりたくなる楽器活動の方法、賛美の喜びを体験しましょう。

実習5 「アートセラピーでキリストの愛を受けよう」

講師 金エノク (日本キリスト改革派徳島西部教会宣教師
美術心理相談師2級、児童美術心理相談師1級)

色や形を思うままに描いて脳を活性化しましょう。

「アート(美術)」は、神さまが私たちに与えてくださった感情表現の手段であり、コミュニケーションのひとつです。人間の心はとても深く、言葉だけでは伝えられないことが多くあります。特にまだ言葉が堪能でない子どもにとって、創作は自分の気持ちを表す手段です。

「アートセラピー」とは、完成度を追求することではなく創作行為そのものを楽しむ癒し、テクニックは不要です。「アートセラピー」ですべての造り主でいらっしゃる神さまの愛を感受しましょう。

全体公演
(全員参加)

「愛と祈りをフラにのせて」

講師 伴 真規子
(賛美フラミニストリー インストラクター)

神さまへの感謝を込めて踊る賛美フラダンスは祈りであり、証しです。また、子どもから歳を重ねた方まで一緒に楽しむことができます。

フラの手振りの意味を知り、神さまのこぼれを身体で賛美してみましょ。

南の島で生まれたフラダンスは踊るだけで心と体が癒されます。きっと、平安、喜び、愛を感じる時となると思います。



「絵本との出会い・その魅力と役割」

講師 細川和子 (「おはなしと絵本の会」代表、日本児童文学学会
日本子どもの本研究会、熊本子どもの本の研究会会員)

長い間、ほとんど人生の半分近く、絵本の読み聞かせをしてきました。地域、図書館、保育園、小学校、そしてCSなど、さまざまな場所で。聞き手は0歳~10歳前後の子どもが中心ですが、時には、おとなも。

結局のところ、こうしたいろいろな年代の多くの人と絵本に支えられて、いつのまにか時間がたったといえるでしょう。

そうした絵本とともに歩んだ日々の中で出会った多くの絵本の魅力、私の絵本を選ぶ視点、読み聞かせに込めた思いなどをお話したいと思います。

具体的な絵本のご紹介、いつも子どもたちにしている「おはなし会」の実演もさせていただきます。

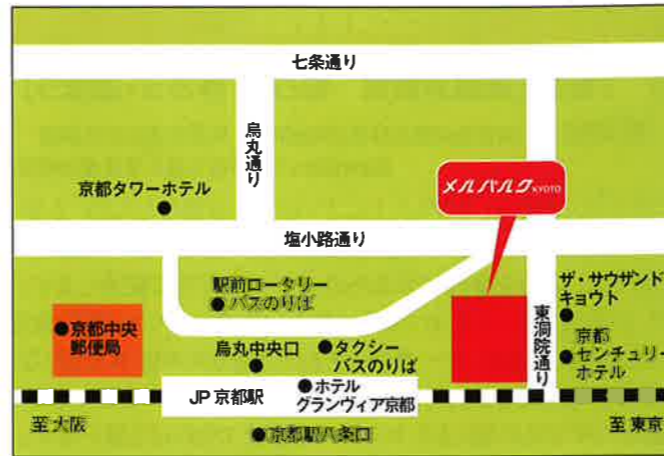


AVACO ワークショップ in 京都 募集要項

- ◆期 間 2019年7月31日(水)・8月1日(木)
- ◆会 場 メルパルク京都(京都駅烏丸口東隣)
〒600-8216
京都府京都市下京区東洞院通七条下ル東塩小路町676番13
TEL 075-352-7444
- ◆定 員 120名
- ◆締 切 7月12日(金) (ただし定員になり次第、締切りとなります)
- ◆参加費 ★7/31・8/1 (2日間参加) …23,000円 (8/1昼食費用を含む)
7/31のみ …… 9,000円
8/1のみ …… 15,000円 (昼食費用を含む)
実習により、教材費が別途かかる場合があります。
お申込み受付後にお知らせいたします。
※参加取消しの場合、ご返金できませんのでご了承ください。
その他詳細は、申込先・事務局までお問合せください。
- ◆申込方法 ★申込書に必要事項をご記入の上、銀行振込または現金書留にて参加費をご送金ください。
申込書と参加費納入時をもって受付とさせていただきます。
★銀行振込の場合
申込書は下記の申込先までFAXまたは郵便等でお送りください。振込者名と送金日をご明記ください。
参加費は下記の口座にご送金ください。
振込口座名/一般財団法人 日本聖書協会
○みずほ銀行 銀座支店 普通預金 4146487
★現金書留の場合
参加費に申込書を添えて、下記の申込先までお送りください。
★実習は選択となります。
定員に達した場合、申込みを締切らせていただきますので、ご了承ください。
なお、受付後の変更はご容赦ください。
後日、受講票と詳しいご案内をお送りいたします。
- ◆申込先 ★〒169-0051 東京都新宿区西早稲田2-3-18
事務局 一般財団法人 日本聖書協会
キリスト教視聴覚センター 夏期講習会係
TEL 03-3203-4121 FAX 03-3203-4186
URL <http://www.avaco.info>
e-mail avaco@avaco.info

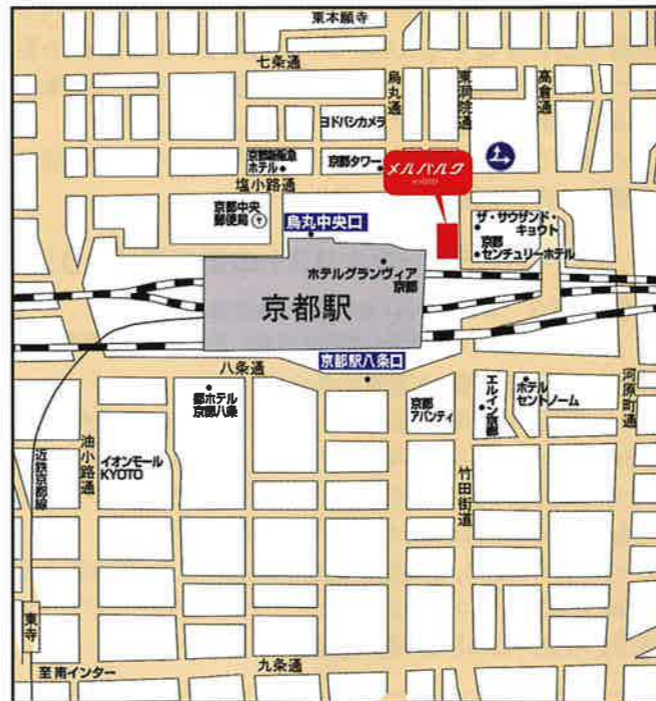
アクセス

講習会場周辺



- 新幹線をご利用の場合
JR京都駅(烏丸中央口)から東へ約2分
- 飛行機をご利用の場合
大阪(伊丹)空港からリムジンバスで約60分【片道1,310円】
「京都駅八条口」下車徒歩5分

京都駅周辺



第70回夏期講習会プログラム

7月31日(水)	8月1日(木)
	10:00
	11:00
受付	12:00
開会礼拝・オリエンテーション	13:00
講演	14:00
実習 (実習選択、裏面参照)	15:00
	16:00
	17:00

- 当日のご案内
 - ・実習を修了した方には、AVACOより「修了証」を交付します。
 - ・当日はキリスト教書店が出店し、講師の著書や各種教材を販売しています。
 - ・講演、実習の録音・録画はご遠慮ください。
- ※開催中はAVACOスタッフが講習会のような写真を写真に撮らせていただきます。
写真は今後の資料として、また、一部はホームページなどに掲載させていただきます。
掲載する写真につきましては、十分に配慮の上用いますのでご協力くださいますようお願い申し上げます。